

様式第1号（第3条、第5条関係）

地球温暖化対策計画 作成 報告書 （任意）

平成 24年 7月 12日

（あて先）
埼玉県知事

提出者 所在地 埼玉県行田市持田2662

名称 梅田工業株式会社

代表取締役 梅田 耀敬

（個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印）

電話番号 048-553-3191



平成 24 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化
対策推進条例 第 1 3 条 第 1 項 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名	金属製品製造業	番 号	24
燃 料 等 使 用 量 (店 舗 面 積)	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量 244 kL/年 (大規模小売店舗の場合は、店舗面積 m ²)		
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日		
	変 更 の 理 由		
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係	埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第 号該当		
連 絡 先	所 属 部 署	別紙のとおり	
	職 ・ 氏 名		
	電 話 番 号		
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考			

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線
線で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省
告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



地球温暖化対策実施状況報告書

平成 24年 7月 12日

(あて先)
埼玉県知事

提出者 所在地 埼玉県行田市持田2662

名称 梅田工業株式会社

代表取締役 梅田 耀敬

(個人事業者にあつては、住所
及び氏名 (自署又は記名押印))

電話番号 048-553-3191



平成 23 年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第 1 4 条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	金属製品製造業	番 号	24
燃料等使用量の 原油換算合計量	244		kl/年
温室効果ガス (CO ₂ 換算)総排出量	391		t-CO ₂ /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第 3 7 条 第 2 項 に 該 当 の 有 無		有 <input checked="" type="radio"/> 無
連 絡 先	所 属 部 署 職 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受 付 年 月 日	年 月 日	※ 整 理 番 号	
※備 考			

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成 2 1 年総務省告示第 1 7 5 号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
- 2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



平成 24 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	梅田工業株式会社	
所在地	埼玉県行田市持田2662	
事業者番号	4035	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	244	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	金属製品製造業	
分類番号 (中分類)	24	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	コンピュータ・OA機器・計測機器・映像機器等機構部品製造 ●金属プレス精密板金●プレス金型●プレス加工●機械加工 従業員数：68名 資本金：5,000万円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
1500 kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
403500		244
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		244

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.umedakk.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	梅田工業株式会社 本社工場
	所在地 1	埼玉県行田市持田2662
	閲覧可能時間 1	9:00~17:00 (土日祝祭日以外で稼働日に限る)
	閲覧場所 2	なし
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 品質管理課・ISO事務局 (地球温暖化対策推進者)	048-553-3191	048-553-3193	kurakawa@umedakk.co.jp
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

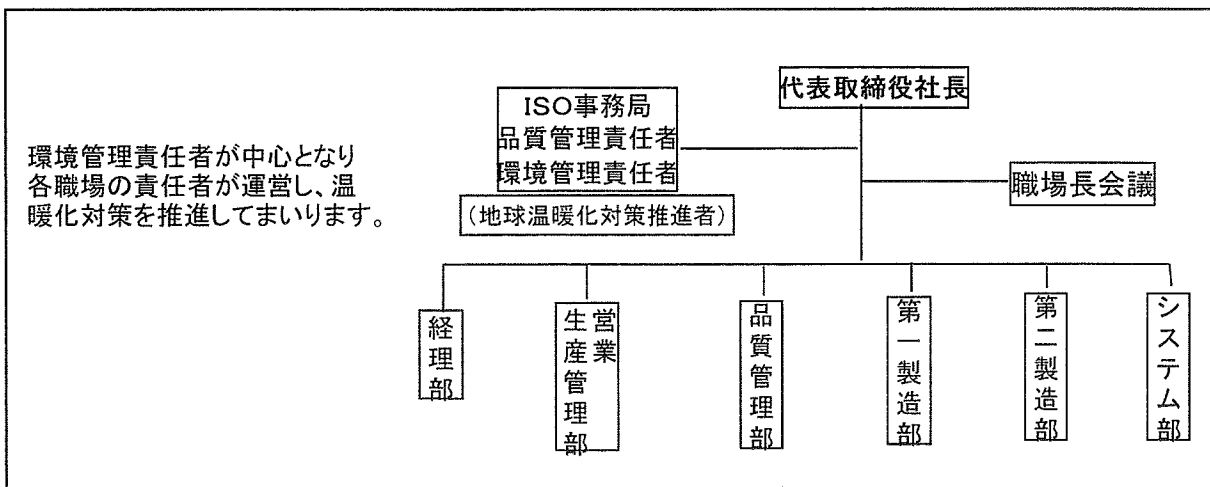
(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

梅田工業株式会社は、「青い地球を、そのままに」の理念に基づき、精密板金・プレス加工・プレス金型・機械加工等金属製品製造業において、環境に配慮した活動を行い、社会に貢献することを目指します。
 そして、『かけがえのない地球を、汚すことなく次代へ渡す』との認識にたち、事業活動、製品、サービスのあらゆる面で環境活動を『見る・見える・見せる管理』をモットーに技術的、経済的に可能な範囲で、推進いたします。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	440	391			
その他ガス					
温室効果ガスの合計	440	391			

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成	24	年度	事業者番号	4035	事業所番号	403500
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	梅田工業株式会社 本社工場					前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	行田市持田					
	字・地番	2662					
原油換算エネルギー使用量(kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)	
	使用量	277	244				
産業分類名(中分類)	金属製品製造業						
分類番号(中分類)	24						
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	コンピュータ・OA機器・計測機器・映像機器等機構部品製造●金属プレス精密板金●プレス金型●プレス加工●機械加工 従業員数:68名 資本金:5,000万円					
	延床面積	4650				m ²	
商標又は商号							

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	22年度 ~ 26年度	
目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	平成19年度の二酸化炭素排出量 482t-CO ₂ に対し、平成26年度末までに 36t-CO ₂ の削減をいたします。
	その他ガス	

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	梅田工業株式会社 本社工場	行田市持田2662
2	梅田工業株式会社 第二工場	行田市持田1-9-13
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計 画 期 間					
		21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂	目標	/	465	460	456	451	446
	実績	322	440	391			
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標	/				
		実績					
	メ タ ン	目標	/				
		実績					
	一 酸 化 二 窒 素	目標	/				
		実績					
	ハイドロフルオロカーボン	目標	/				
		実績					
	パーフルオロカーボン	目標	/				
		実績					
	六 ぶ っ 化 い お う	目標	/				
		実績					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	目標	/	465	460	456	451	446
	実績	322	440	391			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

		計 画 期 間					
		21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	目標	/	0.577	0.575	0.570	0.564	0.558
	実績	0.601	0.577	0.503			
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 (単位) t/年						
	<input checked="" type="radio"/> 出荷額 (単位) 百万円/年	536	763	777			
	<input type="radio"/> 従業員数 (単位) 人						
	<input type="radio"/> 床面積 (単位) m ²						
	<input type="radio"/> ()						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所
梅田工業株式会社 本社工場

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設備の温度管理(冷房時28度、暖房時20度)と運転時間の管理にて消費電力の削減	平成22年度より実施中	
2	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	西側の窓にブラインド設置により室内温度の上昇低減	平成22年度に実施済み	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	出力の違う3台のコンプレッサーを切り替え運転し、流量管理を行う。インバーター機を常時運転し、大小の出力機を必要流量に応じて運転	平成22年度より実施中	
4	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	事務所南側の窓を2重サッシ (AGCエコガラス) の設置による、空調機運転の低減	平成23年5月に実施	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要場所の消灯の徹底	平成22年度より実施中	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	休憩時間、昼食時間の工場照明の消灯徹底	平成22年度より実施中	
7	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コピー機の省エネモード切り替え時間の設定変更と不要コピー紙の裏再利用の徹底	平成22年度より実施中	
8	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	デマンド監視装置を設置	平成23年7月に実施	
9	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	現行使用中の冷暖房設備を高効率機種への切り替え	平成24年8月に予定	
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	40W蛍光灯をLED灯に変更 350本	平成24年6月より随時	
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

梅田工業株式会社 本社工場

(1) 温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度							○							
燃料等使用量の原油換算量 (kL)					291	309	306	284	203	277	244			
エネルギー起源 CO ₂					464	487	482	449	322	440	391			
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂													
	メタン													
	一酸化二窒素													
	ハイドロフルオロカーボン													
	パーフルオロカーボン													
	六ふっ化いおう													
合計					464	487	482	449	322	440	391			

(2) 温室効果ガス排出量原単位 (エネルギー起源CO₂)

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度								○							
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位						0.5873	0.6141	0.5711	0.5585	0.6007	0.5767	0.5033			
活動規模の指標	<input type="radio"/>	生産量 (単位)	t/年												
	<input checked="" type="radio"/>	出荷額 (単位)	t/年				790	793	844	804	536	763	776.87		
	<input type="radio"/>	従業員数 (単位)	人												
	<input type="radio"/>	床面積 (単位)	m ²												
	<input type="radio"/>	()													

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

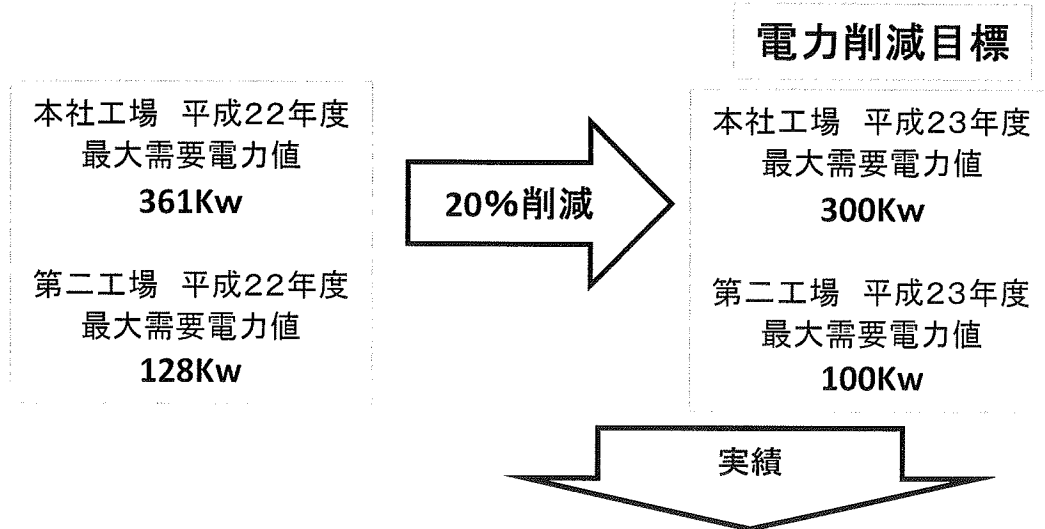
(※希望者のみ記載)

A事業所
梅田工業株式会社 本社工場

自由記述欄

梅田工業株式会社は、温室効果ガス排出量としては年間500t-CO₂以下ではありますが空調機の運転管理、設定温度の管理、照明設備の必要以外の消灯などを行い、年間1%以上の削減計画を実施してまいりました。今後も環境への取組みを経営の最重要課題として位置付け、継続的な改善・向上を図ってまいります。

東北地方大震災による電力不足において平成23年7月にデマンド監視装置を設置し、最大需要電力を、前年度の約20%削減目標を立て、監視と制御を行ってまいりました。



平成24年に入ってから受注量の増加に伴い、若干の増加が見られましたが、平成24年3月末時点での実績として17%の削減を維持しています。

平成24年度の電力削減として、工場内で使用している40W蛍光灯のLED化と空調設備を高効率機器へ更新を予定し、更なる削減を進めてまいります。